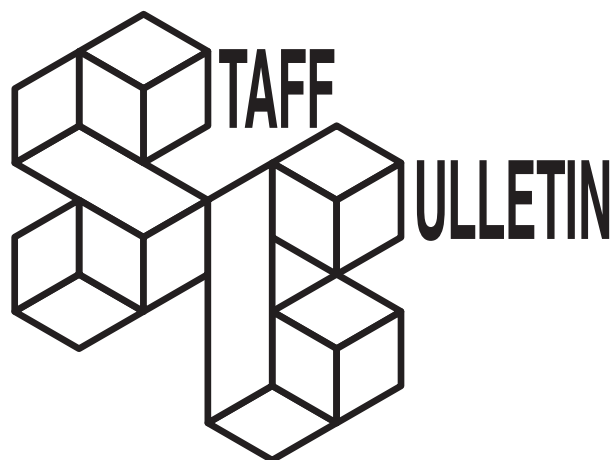


UNIVERSITY OF TSUKUBA

20 2001

筑波大学広報・公開室編集
企画調査室発行
平成13年11月14日
通巻1020号
速報つくば



つくば学園ロータリークラブ一行52名が来学し、学長及び副学長と懇談



去る11月8日(木)つくば学園ロータリークラブ、会長塚田陽威氏(塚田陶管(株)代表取締役)他会員51名が来学し、学長、副学長等と懇談会を行い、併せて附属図書館を見学しました。これは同クラブの例会として開催されたもので、本学側は、北原学長、腰塚、岩崎、濱口、富江、桑原の各副学長、体育科学系中村教授、小口事務局長、飯田事務局次長、金田総務部長が出席しました。懇談会は、同クラブ会長及び学長の挨拶、大学側出席者の紹介の後、本学の教育・研究活動状況等について質疑応答が行われました。懇談会終了後一行は附属図書館に足を運び、山内附属図書館長の説明を受けた後、3班に分かれて附属図書館内を見学しました。日頃本学を知る機会が少ない地元地域の社会団体と大学関係者が交流の場を持たせたことは、ロータリークラブ及び筑波大学の双方にとって有意義な一日となりました。

吉澤正教授(社会工学系)が日経品質管理文献賞を受賞



吉澤正教授(社会工学系、ビジネス科学研究科)は、このたび2001年度日経品質管理文献賞を受賞されました。この賞は日本経済新聞により品質管理分野の研究・普及に貢献のあった論文や著者に贈られるものです。受賞の対象となった文献は「ISO14000環境マ

ネジメント便覧」日本規格協会発行で、吉澤教授が編集委員長を務め、執筆にもあたられました。筑波大学教官数名を含む100人以上の環境マネジメント及び品質マネジメント専門家が執筆し、環境マネジメントの普及に貢献しました。授賞式は11月13日経団連会館ホールで行われました。

杉浦則夫助教授(農林工学系)が環境省環境管理局水環境部長表彰される



杉浦則夫助教授(農林工学系)は、このたび日本の水環境保全に多年にわたる顕著な功績が評価され環境省環境管理局水環境部から表彰されました。杉浦助教授は、世界に先駆けて、水環境で障害となっているアオコを高効率に捕食・分解する微生物を発見し、水処理できたこと、水の異臭味発生のメカニズムを解明し、発生の予測方法を確立したことが評価されたものです。なお、表彰伝達式は10月22日(月)に茨城県庁で行われました。

吉澤正教授(社会工学系)研究指導の博士課程経営・政策科学研究科木野泰伸氏が日本品質管理学会品質技術賞を受賞



吉澤正教授(社会工学系、ビジネス科学研究科)研究指導の博士課程経営・政策科学研究科木野泰伸氏(日本アイ・ビー・エム(株)勤務)が日本品質管理学会品質技術賞を受賞しました。この賞は、企業に属する人を対象に年度内の論文で品質技術の発展に貢献したものが1ないし2件選ばれます。受賞論文は、「コーディング・単体テスト工程における分割管理方式の提案」で、従来、1工程として大まかに管理されていた状況を実際の開発プロジェクトについて詳しく分析し、工程を4分割して区間ごとに管理項目を変え、要員の投入を計画するように提案したものです。授賞式は

10月27日(土)の日本品質管理学会年次総会で行われました。

神崎亮平助教(生物科学系)指導のEvan S. Hill, Ph.D. (日本学術振興会外国人特別研究員)が第14回内藤コンファレンスにおいてポスター賞を受賞



Evan S. Hill, Ph.D. は、2001年10月に開催されたThe 14th Naito Conference on Bioactive Natural Products and their Modes of ActionにおいてSerotonergic modulation in the olfactory neural network of the male silkworm Bombyx mori revealed by optical and intracellular recording”で、ポスター賞を受賞し、特定研究助成金が授与されました。

正田純一講師(臨床医学系)がWho's Who in the World(2002年版)に掲載される



正田純一講師(臨床医学系)はMarquis版Who's Who in the World(第19版)に掲載されることになりました。本人名録は古い歴史があり、また世界的にも権威のあるものであり、グローバルな分野より国際的に貢献度の高い人物を厳選して掲載するものです。正田講師は肝胆道疾患(特に結石形成、胆汁うっ滞)の病態解析と胆嚢癌の発生と進展機構に関する研究を精力的に行っており、厚生労働省特定疾患調査研究班(肝内結石症)における10年以上に及ぶ研究活動、欧文誌における論文発表と国際学会における発表、招聘ならびに受賞等が評価されて掲載に至ったものです。

防災に関する講演会のお知らせ

次のとおり「防災に関する講演会」を開催しますので、是非ご参加ください。

日時:平成13年11月26日(月) 15:00~16:30

場所:大学会館 国際会議室

講師:岡田義光氏

(独立行政法人 防災科学技術研究所 企画部長)

演題:地震の基礎知識と茨城県周辺の地震活動

対象:本学の防災担当責任者及び教職員・学生等

平成13年度第5回自然学類化学セミナーの開催のお知らせ

日時:11月27日(火) 16:45 18:00

場所:第一学群1E208

演題:ひかりで交互に色変化する物質

講師:高木 克彦氏

(名古屋大学工学研究科 教授)

問合せ先:化学系 櫻木宏親(4239),新井達郎(4315)

第三技術区技術発表会のお知らせ

このたび第三技術区では、各技術区に所属する技術職員が実験装置の開発・改良・維持管理、実習・講義関連業務など、日頃携わっている教育研究支援業務の中で得た新たな成果や創意工夫、また失敗談や苦労話などを紹介する機会を設けました。つきましては発表者を募集いたしますので、ぜひ参加してください。発表者の決定につきましては、申し込み締切後、予稿の作成要領等と併せて、直接本人にご連絡いたします。

募集対象者:各技術区に所属する技術職員

発表会日時:平成14年3月18日(月)10:00~

発表者募集締切日:平成13年12月7日(金)

申し込み方法等詳細につきましては、次にお問合せください。

問合せ先:第三技術区 齋藤静夫(5012)

澤村博通(5383)

中島 孝(5195)

TARA公開セミナー「民間との共同研究契約・秘密保持契約について」のセミナー開催のお知らせ

TARAプロジェクト「パルプ漂白におけるダイオキシン類の生成機構の解明と生成抑制技術の開発」(総合リエゾン研究アспект)では、環境保全新技術に関する基礎研究、及び技術開発と技術移転方法論の研究を行っています。技術移転、民間と大学との共同研究の推進にとって、相互に開示及び提供される情報の取扱いについて、秘密保持契約を締結することが重要です。その事例について報告し、討論するセミナーを開催しますので、ご参加ください。

日時:12月6日(木)15:00~17:00

場所:TARAセンターA棟2階会議室

報告:農林工学系 講師 大井 洋 (研究代表者)

「共同研究契約に伴う秘密保持契約の意義と事例」

講演:北越製紙(株) 中俣恵一氏(客員研究員)

「クラフトパルプE C F漂白排水中のダイオキシン類発生レベルと水質環境基準」

問合せ先:農林工学系 大井 洋(4639)

TARAセンター事務室(6153)

電子・情報工学系外部評価ポスターセッションの公開のお知らせ

電子・情報工学系では、外部評価を受けるための準備をすすめております。12月5日(水)と6日(木)に行われる外部評価委員による現地調査では、外部評価委員に

研究の現状を紹介するために、全教官による研究室紹介のポスターセッションを大学会館ラウンジで開催いたします。これを機会に、学内関係者の方々に電子・情報工学系の研究内容をご紹介するため、このポスターセッションを12月6日（木）13:00から16:00まで公開いたします。多くの皆様のご来場をお待ちいたしております。

問合せ先：外部評価実行委員長
電子・情報工学系 井田哲雄（5533）

平成14年度科学研究費補助金（奨励研究）の公募について

平成14年度科学研究費補助金（奨励研究）の公募が次のとおり行われています。

1 目的

大学等の研究機関に研究者として所属する者以外の者（小学校・中学校・高等学校・盲学校・聾学校・養護学校の教員及び本学の技官等。但し学群・大学院の学生を除く。）が1人で行う研究で、教育的・社会的意義を有する研究を助成し、奨励することを目的としています。

2 対象とする専門分野

部	専 門 分 野	部	専 門 分 野	
人	哲学・倫理	自	数 学	
	国語・国文学		物 理	
	外国語・外国文学		化 学	
	歴 史		地 学	
	心 理		生 物	植 物
	社会学			動 物
	文		教 育	工 学
				農 学
			教育工学	水産学
			特殊教育	医 学
地 理		保 健 体 育		
政治・経済・商業	家 政			
芸 術				

各教科の指導方法・内容等に関する研究については、教科の内容に即した分野へ申請してください。

3 申請研究経費

申請できる研究経費は、10万円以上30万円以下です。

4 応募書類（研究計画調書等）の提出期間・提出方法
応募書類は、平成14年1月23日（水）～1月25日（金）の間に、応募者各人が、直接日本学術振興会研究事業部研究助成課に提出してください。

5 公募要領及び応募書類について

「奨励研究」の公募要領に記載されていることがら及び審査方針等については、日本学術振興会（JSPS）のホームページ上でもご覧いただけます。

また、応募に必要な研究計画調書等の様式については、日本学術振興会（JSPS）のホームページからダウンロードすることができます。

日本学術振興会（JSPS）のホームページアドレス

<http://www.jspss.go.jp/>

詳細については、研究協力課研究助成Ⅱ（6014・2237）又は各事務区等に問い合わせてください。

（財）国際文化交流事業財団平成14年度人物交流派遣・招聘事業の募集

対象：日本及び外国の教育、学術、文化活動に携わっている研究者、芸術家等が具体的な課題について交流を進めようとして行なう活動（共同研究、講演、シンポジウム、展示会等）に対し助成を行う。ただし、原則として純粋な自然科学の領域を除く。

期間：平成14年4月1日～平成15年3月31日

原則として1ヶ月以内

助成内容：1名につき東アジア10万円、西アジア15万円、ヨーロッパ・アフリカ・南米15万円、中北米及びその他の地域10万円

募集人数：派遣、招聘を併せて10名程度

財団締切：平成13年12月15日（土）

問合せ先：対応事務区等または国際交流課（国際学術）
〔内線 6077〕

情報化推進委員会からのお知らせ

ネットワークを円滑に運用するためのガイドライン等を筑波大学ホームページに掲載しましたのでご覧いただくとともに、随時ご参照ください。

- ・「筑波大学におけるネットワーク管理に関するガイドライン」及び「筑波大学におけるネットワーク管理体制とその運用について」について（依頼）
- ・筑波大学におけるネットワーク利用に関するガイドラインについて
- ・筑波大学におけるWebページ取扱い要領について

アドレスは次のとおりです。

筑波大学ホームページ < <http://www.tsukuba.ac.jp/> >

学内専用情報ページ < <http://www.tsukuba.ac.jp:8000/dStaff/staffindex.html> >

学内諸会議情報 / 情報化推進委員会 < <http://www.tsukuba.ac.jp:8000/dStaff/jouhouka/jouhoukaindex.html> >

万葉学会全国大会を開催

本年をもって創立50周年を迎えた万葉学会の全国大会が、10月27日（土）から30日（火）までの4日間の会期で本学において開催されました。

27日は公開講演会で、北原学長の挨拶に続き、内田賢

徳京都大学教授，神野志隆光東京大学大学院教授，伊藤博学会代表（本学名誉教授）の講演が行われました。来聴者350名。

28日は研究発表会，また，29日・30日は臨地調査研究で，茨城県内の，日本古代文学にゆかりの深い地を巡り，盛会裡に終わりました。

なお，大会に合わせて10月22日（月）から11月2日（金）の間に開催された附属図書館特別展「日本古代の学問と萬葉集」も好評でした。貴重書を主としたため，会員からはとりわけ大きな反響がありました。



大会第2日目の研究発表会終了後，挨拶する伊藤博学会代表

平成13年度係長級研修



「先輩として」の講義を行う海老根図書館情報大学会計課長

平成13年度筑波大学係長級研修が，10月9日（火）から12日（金）まで本学及びレイクサイドくさぎを会場に4日間行われました。対象者は，係長，専門職員，主任技師及び看護婦長で，「本学の係長級の職員に対し，その職務遂行に必要な大学行政全般に関する知識及び基本的な管理能力を付与して，係長級としてふさわしい資質の向上を図る」ことを目的に，事務局長の「特別講話」，総務部長の「筑波大学の課題と現状」，病院部総務課長の「日常業務における危機管理」，アドミッションセンター長の「入試改革」，図書館情報大学海老根会計課長の「先輩として」，その他「公務員の服務」，「職場におけるリーダーシップ」，「健康管理」，「自己啓発の進め方」，「企業の経営理念と人材育成」など16項目にわたる講義，演習，ディベート，施設見学等が行われました。受講生は，本学34名，筑波技術短期大学2名，高エネルギー

加速器研究機構2名，計38名。

学園リーグ秋季大会男子Aクラスで教職員硬式テニス部「筑波大学1」が2大会ぶりの優勝

硬式テニスの学園リーグ（TOS Sリーグ）は，研究学園都市内の大学，研究所，実業団等が加盟する団体戦リーグで，参加チーム数300チーム，参加者数1800名以上という県内随一のマンモス大会（1チーム：ダブルス3ペアで2ポイント獲得で勝利）です。男子がA～Gまでの7クラス，女子はA，Bの2クラスで構成されます。10月21日（日）に学園都市内の90面のコートを使用し，秋季大会が開かれ，本学からは男子6チーム，女子1チームが出場し，男子Aクラス「筑波大学1」が，決勝で産業総合研究所南1（旧工業技術院）に2対0で勝利し，2大会（1年）ぶりに優勝しました。

筑波大学1（は，監督）

深沢 直人（病院部総務課調査係）
向高 祐邦（応用生物化学系）
岩原 正一（実験環境管理室）
廣田 春夫（総務部人事課任用第二係）
岡本 史樹（臨床医学系）
岡本 芳史（附属病院眼科）

教職員テニス部では，月1回初心者を対象とした講習会を開いています。（どなたでも参加できます）12月の講習会は，12月1日（土）13：00～中Cテニスコート（TARAセンター隣）で開きます。

また，テニス部員も募集しています。興味のある方は，下記連絡先までご連絡ください。

連絡先：齋藤静夫（5012），深沢直人（3521）

学生生活審議会

11月2日（金）の第296回会議では，●平成13年度日本育英会奨学生の推薦について，●審議会議事要旨等のホームページ掲載に係る取り扱いについて，それぞれ承認された。●第22回全国国立大学学生指導担当副学長・学生部長協議会について，●第2回関東甲信越地区学生関係副学長・部課長会議について，●学生担当教官会議について，●学生証のICカード化について，●平成13年度（第25回）秋季スポーツ・デーについて，●平成13年度国家公務員採用 種及び 種試験結果について，それぞれ報告があった。

医療関係委員会

10月10日（水）の第156回会議では●附属病院の平成13年度9月分の経営状況について，診療費用請求額，医療費率，患者診療経費執行状況，病床稼働率及び院外処方せん発行率について報告があった。●第142回筑波大学医の倫理特別委員会の審査結果について報告があった。
●陽子線医学利用研究センターからの報告があった。

- 保健管理センターからの報告があった。
- 平成14年度概算要求の状況について報告があった。

運転は命がけより心がけ

(交通安全標語入選作品)

「速報つくば」からのお知らせ

「速報つくば」の次回(通巻1021号)の発行は11月28日(水)、原稿締切りは11月21日(水)となります。

「速報つくば」への寄稿に際しましては、一行25文字(英字・数字は半角)で原稿作成し、できるだけ電子ファイル等で寄稿してください。

学内行事、イベント情報、教職員サークル活動などの記事も募集しています。

なお、お寄せ頂いた原稿は、Web上でPDFにして掲載しますので、ご了承願います。また、「速報つくば」のPDF版は、次のアドレスでご覧になれます。

<http://www.tsukuba.ac.jp/dAbout/booklets2.html>

学内ニュース、写真の提供及び掲載内容へのご意見は
広報・公開室(TEL 2041, FAX 2014)へお願いします。

e-mail: vision@sakura.cc.tsukuba.ac.jp